

令和2年度第2回防府市空き家等対策協議会 会議録要旨

■ 開催日時	令和2年10月13日(火) 午後3時から午後4時まで
■ 場 所	ルルサス防府 1階101号室
■ 出席者	<p>【委員】古田委員(会長)、山田委員(副会長)、田中委員、河村委員、山崎委員、山根委員、額田委員、越智委員、前田委員、佐藤委員、宮田委員、福本委員、中谷委員、友景土木都市建設部長(市長代理)</p> <p>(欠席者)中川委員</p> <p>【事務局】池田市長、入江土木都市建設部理事、石光土木都市建設部次長兼都市計画課長、野間主幹、友廣参与、(空き家対策室)山本室長、鴻野主幹、江島副主幹、開地対策係長、渡邊計画係長、田中主任技師、上野主任主事、中岡主任主事</p>
■ 傍聴者	なし
■ 次 第	<p>1 開会</p> <p>2 議題 第2次防府市空き家等対策計画の策定について</p> <p>3 その他</p>
■ 概 要	以下、発言要旨の文章表現は、簡略化している
1 開会 市長挨拶	<p>・新たな総合計画の重点項目の一つとして、空き家対策を位置付けていこうと策定に向けて取り組んでおり、安全・安心なまちづくりに向け、委員の皆様からご意見をいただきたい。</p>
2 議題 (事務局)	<p>(本日の会議を「公開」することを承認)</p> <p>【第1回協議会の振り返りについて】</p> <p>【第二次防府市空き家等対策計画の骨子案について】</p> <p>「資料1」に基づき説明</p>
(会長)	<p>計画骨子案にある、基本的な方針についてご意見をいただきたい。</p>
(A委員)	<p>・隣家との境界を決める場合、空き家であれば、所有者がどこにいるのか分からないケースがあり、境界が確定できない。狭隘道路の問題も境界が確定しないと解決しないため、所有者に連絡がつかない場合、行政から通知を送るなどの協力をして欲しい。</p> <p>・農地付き空き家を移住希望者に賃貸や売買を行い、定住促進に利用できたら良いのではないかと思う。</p>

<p>(B 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・狭隘道路の解消として、寄附してもらっただけでなく、今後は市が買い取りを検討してもいいかと思う。 ・空き家の除却の問題として、解体費用が負担になる以外に、固定資産税の問題がある。税金が上がるため、解体を躊躇している人もいるので、解体をしても一定期間は税金を据え置くなどの対応が出来たらいいと思う。
<p>(C 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家になる前から、高齢者への説明など、発生防止に取り組む必要がある。 ・危険な空き家への対応については、期間や費用について様々な問題があるが、適切に法律を行使していくという観点も必要だと思う。
<p>(D 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の適正管理を行っているところとして、シルバー人材センターがあるが、人手不足のようである。 ・空き家の解体は費用が負担となり、防府市も解体費補助金制度があるが、もう少し補助率を上げてもらったらと思う。 ・前回の会議で発言した、自治会での空き家対策として、安全対策部長を置くことが決定した。
<p>(E 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が行う空き家実態調査だけでなく、自治会長や民生委員から空き家の情報をもったらどうか。 ・最近は大規模な災害が多く発生しているため、空き家を避難所として活用したらどうかと思います。
<p>(F 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・利活用を考えた際に、空き家の中にある動産が問題になる。特に仏壇などは社会通念上の理由から行政が処分できないとのことなので、そこは時代に沿った対応を考えてもらえればと思う。 ・狭隘道路もあえて解消せず、車を使わなくても生活できる地域というコンセプトを作って、まちづくりを行ってみてはどうか。
<p>(G 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の処分に関して、関連業者の一覧等を掲載した資料集の作成及び、空き家に係る総合的な相談窓口があれば、最初に相談する場所として、次の行動に移りやすい。
<p>(H 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題はまた地域での問題でもあるので、市と自治会で空き家情報を共有していくことが大事かと思う。
<p>(I 委員)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・空き家の問題は多岐にわたるため、相談者がワンストップで問題の解決に至るまでのフローを示し、専門家と連携できる仕組みがあるといいと思う。 ・観光資源と空き家を併せて活用している地域もあるので、そういった人をこの会議に呼んでもいいかと思う。

(J 委員)	<ul style="list-style-type: none"> • 空き家セミナーや空き家の管理に関するガイドブックを作成し、空き家の所有者等に対して空き家の適正管理の意識啓発を行っている。
(市長)	<ul style="list-style-type: none"> • 行政としてどこまでできるかという部分はあるが、次回の会議までに施策のある程度の方向性を示したい。 • 今日のご意見の中で、すぐにできるものは時を置かずして行っていきたいと思う。
3 閉会	